

- 我が国は、**戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面**しています。国際社会においては、力による一方的な現状変更及びその試みが恒常的に生起し、日本周辺における軍備増強が急速に拡大しています。ロシアによるウクライナ侵攻のように、国際秩序の根幹を揺るがす深刻な事態が、将来、とりわけ東アジアにおいて発生することは排除されません。
- このような安全保障環境に対応するべく、力による一方的な現状変更を許さないため、防衛省としては、防衛力の抜本的強化の取組を進めているところです。

- 諸外国のレーダー探知範囲や各種ミサイルの射程・性能は著しく向上しており、これらの脅威が及ぶ範囲は侵攻部隊の周囲数百km以上です。
- 我が国領域を守り抜くため、島嶼部を含む我が国に侵攻してくる艦艇や上陸部隊などに対し、脅威圏の外から対処するスタンド・オフ防衛能力を抜本的に強化し、我が国への武力攻撃に対する抑止を向上させることが必要と考えています。

- スタンド・オフ・ミサイルとは、島嶼部を含む我が国に侵攻してくる艦艇や上陸部隊等に対して、遠方から対処することが可能なミサイルです。
- これにより、各国の早期警戒管制能力や、各種ミサイルの性能が著しく向上していく中、自衛隊員の安全を確保しつつ、我が国への攻撃を効果的に阻止することが可能となります。
- 防衛力整備計画では、射程や速度、飛翔の態様、対艦・対地攻撃の性能、発射プラットフォームといった様々な点で特徴が異なる様々なスタンド・オフ・ミサイルを整備することで、我が方の重層的な対応を可能とし、相手に複雑な対応を強いることで、我が国への武力攻撃そのものの可能性を低下させることとしています。

衛星コンステレーション
目標情報の収集

相手の対空ミサイルの射程

JASSM 極超音速誘導弾
トマホーク

地上部隊

目標の探知

目標の追尾

無人機 (UAV)

島嶼防衛用
高速滑空弾

F-15

F-35

F-2

潜水艦

JSM 艦対艦誘導弾

1.2式地对艦
誘導弾能力向上型

艦艇

地上発射機

スタンド・オフ・ミサイル
による脅威圏外からの対処